

講義コード	1BD0110001
講義名称	問題解決法 01<秋>
科目英文名	Problem Solving
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2310
単位数	2.0
時間割	秋学期: 木曜日 2時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 藤田 勝利	水曜 13:30-14:30 面談希望の場合は、前もってメール等で連絡ください。	kfujita@andrew.ac.jp	5D

講義	アクティブラーニング	グループワーク
授業形態	実務経験のある教員による授業① 総合商社、コンサルティングファーム、スタートアップ 企業で実務経験のある教員が理論と実例をおりまぜて解説しながら授業を進める。	

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	コメントシート	小レポート/小テスト	宿題(演習問題、e-learning等)
	ディスカッション(話し合い)	協同・協調学習(グループ・ワーク、チームワーク、ペアワーク)	ディベート(討論、討議)
	課題解決		

講義・演習概要	<p>本授業では、今後ますます複雑化し多様化する「問題」の本質を捉え解決する方法を体系的に学ぶことで、効果的・生産的な意思決定力とリーダーシップを発揮する能力を身につける。①「現状の認識」②「得たい結果（目標）の設定」③「（目標と現状間の）ギャップ=解くべき問題の設定」④「問題発生原因の考察」⑤「課題と解決策の考察」⑥「解決に向けた意思決定と実行」⑦「評価と次なるアクション考察」を、問題解決の基本プロセスとして、これらを自然に思考・実践できるようにする。</p> <p>学生にとって重要なテーマと事例を扱いながら、問題発見・解決に関する幅広い知識とスキルをアクティブラーニング型で身につける。フレームワークや論理的思考といったハードスキルだけでなく、対人関係スキル、セルフリーダーシップといったソフトスキルも、問題解決に不可欠なマインドセットとして併せて学習する。15回の授業に積極的に参加し学ぶことで、学生生活、課外活動、アルバイト、就職活動やインターン、その他学外活動などで実際にこの問題解決思考が活用でき、良い結果を生むことを体感することができる。</p>
学習（到達）目標	<p>本授業では、ディプロマ・ポリシーに掲げる「取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して持続的に価値を創造する力」を身につけることができる。詳細は下記講義内容の通り。</p>

講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】講義のイントロダクション 「自分の頭で考える楽しさ」に気づこう
第2回	【対面】「問題を解決する」とは（基本演習）
第3回	【対面】問題解決の基本フレームを理解し、活用する
第4回	【対面】問題解決の基本フレーム（実践）と論理的思考 技法① 論理の展開を見抜き、ゼロベースで考える
第5回	【対面】問題解決の基本フレーム（実践）と論理的思考 技法②深く広く問題を捉え、構造化する
第6回	【対面】問題解決の基本フレーム（実践）と論理的思考 技法③問題と原因を構造的に整理し、解決する

第7回	【対面】問題解決のための対人スキル ～高度なコミュニケーション力で、問題解決力を発揮する～
第8回	【対面】問題解決のためのソフトスキル ～リーダーシップとモチベーション～
第9回	【対面】ビジネスアイデアの発想と問題解決
第10回	【対面】「学習する組織」と「システム思考」①
第11回	【対面】「学習する組織」と「システム思考」②
第12回	【遠隔】問題解決とセルフリーダーシップ
第13回	【対面】知識と関心の幅を広げることで問題解決力を高める！
第14回	【対面】問題解決と経営～ビジネスの世界で業界が抱える問題を解決する～
第15回	【対面】講義の総括

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	50%
その他	50%

成績評価の方法（コメント）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加（講義出席・参加における積極性、質問や発言の頻度及びその質、ディスカッションにおける主体性など）(50%) ・授業で課される提出課題やレポートの質(50%) <p>詳細の成績評価や単位認定基準は第1回授業で発表する。</p>
---------------	--

参考文献	参考書籍/推薦図書は、授業内で随時紹介する。 受講生は、論理的思考/ロジカルシンキングに関する書籍をできれば授業開始前に一読しておくことが望ましい（書籍は自分が読みやすいもので問題ない）。
事前および事後学習の指示	翌週授業までの課題がある場合は、授業時間内に提示する。
その他備考（担当教員用）	受講生の状況や理解度を見て柔軟に対応しながら進めるため、一部上記計画と異なる内容になる場合もある。
キーワード	問題解決 ロジカルシンキング ハードスキル ソフトスキル